

種別・頁	改定・訂正前	改定・訂正後																																																																																
<p>共通編 II-5-⑥-4</p> <p>第II編 共通工</p> <p>第5章 仮設工</p> <p>⑥仮設材設置撤去工</p> <p>6. 仮設材賃料に係る修理費及び損耗費等の取扱いについて</p>	<p>(注) 1. 修理費及び損耗費は、整備費、修理費(特別ケレン・穴埋め・曲がりなおし等)、切断による短尺補償、打込による破損を含む。</p> <p>2. 修理費及び損耗費は、土質、打込又は引抜き等の作業条件を十分考慮して適用を決定する。</p> <p>3. 補助工法とは、ウォータージェットまたはアースオーガ併用工法、硬質地盤専用工法、プレボーリング工法等をいう。</p> <p>6-2 山留主部材等の副部材について 副部材の賃料(1現場あたり修理費及び損耗費を含む)は、次式のとおりとする。 <math>Y = a \cdot b</math> Y: 副部材の賃料(円/t) a: 係数 b: 市場価格</p> <p>表6.2 副部材の賃料(1現場あたり修理費及び損耗費を含む) 算定のための係数及び市場価格</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>係数(a)</th> <th>市場価格(b)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">副部材(A)</td> <td rowspan="4">基礎価格</td> <td>1.21</td> <td>鋼製山留材 部品 不足分弁償金 (新品)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">1.48</td> <td rowspan="4">鋼製山留材 部品 賃料</td> </tr> <tr> <td>90日以内</td> </tr> <tr> <td>180日以内</td> </tr> <tr> <td>360日以内</td> </tr> <tr> <td>1.47</td> <td>720日以内</td> </tr> <tr> <td>1.13</td> <td>1080日以内</td> </tr> <tr> <td>1現場あたり修理費及び損耗費</td> <td>1.13</td> <td>鋼製山留材 部品 賃料</td> </tr> <tr> <td>副部材(B)</td> <td>1現場あたり修理費及び損耗費</td> <td>1.01</td> <td>鋼製山留材 部品 不足分弁償金 (新品)</td> </tr> </tbody> </table> <p>7. 部 材 質 量</p> <p>7-1 主部材及び副部材の質量算出 主部材及び副部材の質量算出は、次表を標準とする。 ただし、これにより難しい場合は、別途考慮する。</p> <p>表7.1 部材質量算出方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部材名</th> <th>部 品 名</th> <th>質量算出方法</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主部材</td> <td>切梁、腹起し、火打梁、補助ピース</td> <td>積上げ</td> <td>キリンジャッキ・火打受ピース(火打ブロック)の長さに対応する部材長の質量を控除すること。</td> </tr> <tr> <td>副部材(A)</td> <td>隅部ピース、交差部ピース、カバープレート、キリンジャッキ、ジャッキカバー、ジャッキハンドル、火打受ピース、腰掛金物、(火打ブロック)</td> <td>主部材質量 × 0.22(0.67)</td> <td>キリンジャッキ・火打受ピースの長さは、どちらも50cmとする。火打ブロックを使用する場合は、( )内の値とする。</td> </tr> <tr> <td>副部材(B)</td> <td>ブラケット、ボルト・ナット</td> <td>主部材質量 × 0.04(0.06)</td> <td>1回毎全損とする。火打ブロックを使用する場合は、( )内の値とする。</td> </tr> </tbody> </table>	名称		係数(a)	市場価格(b)	副部材(A)	基礎価格	1.21	鋼製山留材 部品 不足分弁償金 (新品)	1.48	鋼製山留材 部品 賃料	90日以内	180日以内	360日以内	1.47	720日以内	1.13	1080日以内	1現場あたり修理費及び損耗費	1.13	鋼製山留材 部品 賃料	副部材(B)	1現場あたり修理費及び損耗費	1.01	鋼製山留材 部品 不足分弁償金 (新品)	部材名	部 品 名	質量算出方法	摘 要	主部材	切梁、腹起し、火打梁、補助ピース	積上げ	キリンジャッキ・火打受ピース(火打ブロック)の長さに対応する部材長の質量を控除すること。	副部材(A)	隅部ピース、交差部ピース、カバープレート、キリンジャッキ、ジャッキカバー、ジャッキハンドル、火打受ピース、腰掛金物、(火打ブロック)	主部材質量 × 0.22(0.67)	キリンジャッキ・火打受ピースの長さは、どちらも50cmとする。火打ブロックを使用する場合は、( )内の値とする。	副部材(B)	ブラケット、ボルト・ナット	主部材質量 × 0.04(0.06)	1回毎全損とする。火打ブロックを使用する場合は、( )内の値とする。	<p style="color: red;">赤書き箇所: 訂正</p> <p>(注) 1. 修理費及び損耗費は、整備費、修理費(特別ケレン・穴埋め・曲がりなおし等)、切断による短尺補償、打込による破損を含む。</p> <p>2. 修理費及び損耗費は、土質、打込又は引抜き等の作業条件を十分考慮して適用を決定する。</p> <p>3. 補助工法とは、ウォータージェットまたはアースオーガ併用工法、硬質地盤専用工法、プレボーリング工法等をいう。</p> <p>6-2 山留主部材等の副部材について 副部材の賃料(1現場あたり修理費及び損耗費を含む)は、次式のとおりとする。 <math>Y = a \cdot b</math> Y: 副部材の賃料(円/t) a: 係数 b: 市場価格</p> <p>表6.2 副部材の賃料(1現場あたり修理費及び損耗費を含む) 算定のための係数及び市場価格</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>係数(a)</th> <th>市場価格(b)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">副部材(A)</td> <td rowspan="4">基礎価格</td> <td>1.21</td> <td>鋼製山留材 部品 不足分弁償金 (新品)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">1.48</td> <td rowspan="4">鋼製山留材 部品 賃料</td> </tr> <tr> <td>90日以内</td> </tr> <tr> <td>180日以内</td> </tr> <tr> <td>360日以内</td> </tr> <tr> <td>1.47</td> <td>720日以内</td> </tr> <tr> <td>1.13</td> <td>1080日以内</td> </tr> <tr> <td>1現場あたり修理費及び損耗費</td> <td>1.13</td> <td>鋼製山留材 部品 整備費</td> </tr> <tr> <td>副部材(B)</td> <td>1現場あたり修理費及び損耗費</td> <td>1.01</td> <td>鋼製山留材 部品 不足分弁償金 (新品)</td> </tr> </tbody> </table> <p>7. 部 材 質 量</p> <p>7-1 主部材及び副部材の質量算出 主部材及び副部材の質量算出は、次表を標準とする。 ただし、これにより難しい場合は、別途考慮する。</p> <p>表7.1 部材質量算出方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部材名</th> <th>部 品 名</th> <th>質量算出方法</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主部材</td> <td>切梁、腹起し、火打梁、補助ピース</td> <td>積上げ</td> <td>キリンジャッキ・火打受ピース(火打ブロック)の長さに対応する部材長の質量を控除すること。</td> </tr> <tr> <td>副部材(A)</td> <td>隅部ピース、交差部ピース、カバープレート、キリンジャッキ、ジャッキカバー、ジャッキハンドル、火打受ピース、腰掛金物、(火打ブロック)</td> <td>主部材質量 × 0.22(0.67)</td> <td>キリンジャッキ・火打受ピースの長さは、どちらも50cmとする。火打ブロックを使用する場合は、( )内の値とする。</td> </tr> <tr> <td>副部材(B)</td> <td>ブラケット、ボルト・ナット</td> <td>主部材質量 × 0.04(0.06)</td> <td>1回毎全損とする。火打ブロックを使用する場合は、( )内の値とする。</td> </tr> </tbody> </table>	名称		係数(a)	市場価格(b)	副部材(A)	基礎価格	1.21	鋼製山留材 部品 不足分弁償金 (新品)	1.48	鋼製山留材 部品 賃料	90日以内	180日以内	360日以内	1.47	720日以内	1.13	1080日以内	1現場あたり修理費及び損耗費	1.13	鋼製山留材 部品 整備費	副部材(B)	1現場あたり修理費及び損耗費	1.01	鋼製山留材 部品 不足分弁償金 (新品)	部材名	部 品 名	質量算出方法	摘 要	主部材	切梁、腹起し、火打梁、補助ピース	積上げ	キリンジャッキ・火打受ピース(火打ブロック)の長さに対応する部材長の質量を控除すること。	副部材(A)	隅部ピース、交差部ピース、カバープレート、キリンジャッキ、ジャッキカバー、ジャッキハンドル、火打受ピース、腰掛金物、(火打ブロック)	主部材質量 × 0.22(0.67)	キリンジャッキ・火打受ピースの長さは、どちらも50cmとする。火打ブロックを使用する場合は、( )内の値とする。	副部材(B)	ブラケット、ボルト・ナット	主部材質量 × 0.04(0.06)	1回毎全損とする。火打ブロックを使用する場合は、( )内の値とする。
名称		係数(a)	市場価格(b)																																																																															
副部材(A)	基礎価格	1.21	鋼製山留材 部品 不足分弁償金 (新品)																																																																															
		1.48	鋼製山留材 部品 賃料																																																																															
				90日以内																																																																														
				180日以内																																																																														
	360日以内																																																																																	
1.47	720日以内																																																																																	
1.13	1080日以内																																																																																	
1現場あたり修理費及び損耗費	1.13	鋼製山留材 部品 賃料																																																																																
副部材(B)	1現場あたり修理費及び損耗費	1.01	鋼製山留材 部品 不足分弁償金 (新品)																																																																															
部材名	部 品 名	質量算出方法	摘 要																																																																															
主部材	切梁、腹起し、火打梁、補助ピース	積上げ	キリンジャッキ・火打受ピース(火打ブロック)の長さに対応する部材長の質量を控除すること。																																																																															
副部材(A)	隅部ピース、交差部ピース、カバープレート、キリンジャッキ、ジャッキカバー、ジャッキハンドル、火打受ピース、腰掛金物、(火打ブロック)	主部材質量 × 0.22(0.67)	キリンジャッキ・火打受ピースの長さは、どちらも50cmとする。火打ブロックを使用する場合は、( )内の値とする。																																																																															
副部材(B)	ブラケット、ボルト・ナット	主部材質量 × 0.04(0.06)	1回毎全損とする。火打ブロックを使用する場合は、( )内の値とする。																																																																															
名称		係数(a)	市場価格(b)																																																																															
副部材(A)	基礎価格	1.21	鋼製山留材 部品 不足分弁償金 (新品)																																																																															
		1.48	鋼製山留材 部品 賃料																																																																															
				90日以内																																																																														
				180日以内																																																																														
	360日以内																																																																																	
1.47	720日以内																																																																																	
1.13	1080日以内																																																																																	
1現場あたり修理費及び損耗費	1.13	鋼製山留材 部品 整備費																																																																																
副部材(B)	1現場あたり修理費及び損耗費	1.01	鋼製山留材 部品 不足分弁償金 (新品)																																																																															
部材名	部 品 名	質量算出方法	摘 要																																																																															
主部材	切梁、腹起し、火打梁、補助ピース	積上げ	キリンジャッキ・火打受ピース(火打ブロック)の長さに対応する部材長の質量を控除すること。																																																																															
副部材(A)	隅部ピース、交差部ピース、カバープレート、キリンジャッキ、ジャッキカバー、ジャッキハンドル、火打受ピース、腰掛金物、(火打ブロック)	主部材質量 × 0.22(0.67)	キリンジャッキ・火打受ピースの長さは、どちらも50cmとする。火打ブロックを使用する場合は、( )内の値とする。																																																																															
副部材(B)	ブラケット、ボルト・ナット	主部材質量 × 0.04(0.06)	1回毎全損とする。火打ブロックを使用する場合は、( )内の値とする。																																																																															